

令和 7 年度 (株)神戸製鋼所加古川製鉄所及び

関西熱化学(株)加古川工場環境保全協議会議事録

1. 開催日時：令和 7 年 7 月 23 日（水） 14：00～15：45
2. 開催場所：(株)神戸製鋼所加古川製鉄所 神鋼広報センター 大ホール
3. 会議内容

(1) 開会あいさつ

(2) 委員の紹介

(3) 議題

①議案

議案 1・・・会長及び副会長の選任について

委員の互選により、別府町地区住民代表が会長に、尾上町地区住民代表が副会長に選任された。

議案 2・・・令和 6 年度環境保全協議会収支決算について

－ 承認 －

議案 3・・・令和 7 年度環境保全協議会収支予算案について

－ 承認 －

議案 4・・・要綱の一部改正について

－ 承認 －

議案 5・・・内規の一部改定について

－ 承認 －

②報告事項

報告 1 令和 6 年度立入調査結果について

(兵庫県報告)

- ・令和 6 年 7 月度の降下ばいじん自主管理目標値超過に関して、操業状態や管理状態について確認の立入検査を行っている。設備異常はなく、気象条件の変化により超過したとのことであり、対策として集じんルート見直しによる集じん効率向上や集じん

機の増設が予定されている。

- ・令和6年9月度の超過については強風の影響によるものであり、強風についての考え方を整理するように指示している。
- ・令和7年1月に変圧器より低濃度 PCB を含む油が漏えいしたことに伴い確認を行った。原因としてはパッキンの劣化によるものであり、漏えいした油等は回収された。
- ・その他、ばい煙発生施設の届出・稼働状況を確認し、問題がないことを確認している。

(加古川市報告)

- ・大気関係 22 回、水質関係 31 回、騒音関係 2 回、延べ 55 回の立入調査を行った。
- ・水質関係の立入調査では、排水口での水質調査、排水差温調査、汚濁負荷量調査、pH 計の精度確認を行い、協定値の超過はないことを確認した。
- ・大気関係の立入調査では、粉じん発生のおそれがある堆積場等の粉じん発生施設の現地調査等を行った。
- ・令和6年度の降下ばいじん自主管理目標値超過に関する操業状況の確認については、県と合同で行っている。
- ・テレメータ監視結果として窒素酸化物については最大 492 Nm³/時、硫黄酸化物については最大 267Nm³/時であり、協定値の超過はなかった。
- ・降下ばいじんについては、加古川神鋼ビル、別府小学校、尾上小学校における降下ばいじん総量の年平均値が 2.8t/km²/月となり、前年度と比較して減少している。なお、令和6年4月は降雹により測定機が破損したことで欠測となっており、年平均値が前年より減少している要因の一つと推定される。
- ・騒音関係では製鉄所敷地境界での騒音測定を行い、騒音規制法の基準値超過はなかった。
- ・令和6年度に加古川市が受け付けた製鉄所に対する苦情件数は 10 件であり、主な内容は粉じん、有視煙、におい、夜間の操業音への意見であった。

報告2 協定書の実施状況について ((株)神戸製鋼所加古川製鉄所報告)

(大気関係)

- ・硫黄酸化物、窒素酸化物、ばいじんの時間排出量、年間排出量について協定値を遵守している。
- ・降下ばいじんについては、令和6年7月に加古川神鋼ビルにおいて製鉄所自主管理目標値を超過した。

(水質関係)

- ・COD、SS、ノルマルヘキサン抽出物質及び溶解性鉄の負荷量について、協定値の超過はなかった。

(騒音関係)

- ・製鉄所周辺3地点で騒音を監視した結果、環境基準 60 d Bを超えた時間もあるが、虫の鳴き声、降雨時の雨音、トラック走行音等の影響であり、製鉄所の操業に起因する騒音ではなかった。

(悪臭関係)

- ・アンモニア、硫化水素について敷地境界で臭気測定を行い、法令の基準を遵守した。

(発生品対策関係)

- ・製鉄所内で発生するスラグについてはセメントや路盤材等として有効活用し、再資源化に取り組んでいる。

(情報公開関係)

- ・令和6年5月26日に現地説明会を開催した。12名の出席があり、環境保全の取り組み状況を説明するとともに、現地見学を行った。

(降下ばいじん対策)

- ・令和6年7月の降下ばいじん自主管理目標値未達成については、所内での異常はなかったが、南風の頻度が例年に比べて高かった。ドップラーライダーによる気象観測や降下ばいじん連続計の導入により得られたデータから解析することで、事前処理地区のうち、焼結工場南側からの寄与度が高いことがわかった。これらの結果を基に、集じんルート見直しによる集じん効率向上や、集じん機増設といった対策を行う予定である。

(環境に関する問合せ)

- ・環境フリーダイヤルにて粉じんに関する問合せを受け付けた。内容に応じて所内の状況を確認し、相手方に説明している。

— 質疑 —

(委員) 地上からどれくらいの高さまで測定できるのか。

(神鋼) 粉じんが存在する範囲を想定し、200mまでとしている。

(委員) それぞれの高さで得られた結果も踏まえて解析しているのか。

(神鋼) そうである。その結果として焼結工場での寄与度が高いことがわかった。

(4) その他

協議会の内容を加古川市ホームページに掲載することを事務局より説明

(5) 工場見学

コークス工場集じん機、タイヤ洗浄設備、防風ネット（高所散水設備）、石炭ヤード散水状況、防じんネット（敷地境界散水設備）、高所散水前処理施設について見学

(6) 閉会